

# 東京ガスの優位性

東京ガスは、首都圏および関東地方の約890万件の需要家と、約3,100km<sup>2</sup>におよぶ供給エリアをほこる日本最大の都市ガス事業者です。関東地方は4千万人以上が居住する人口密度も高い地域で、特に東京は多くの企業が本社を構える日本経済の中心地です。このエリアを基盤に持つことにより、当社にはさらなる事業拡大の可能性が大きいといえます。また、関東地方は国内総生産の38%を占める国内最大の工業地帯を抱えており、今後もガス需要の伸びが見込めます。

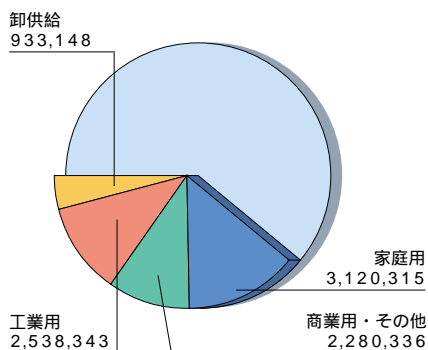


2

## 全国都市ガス販売量・東京ガスの用途別販売量

(2001年3月期)

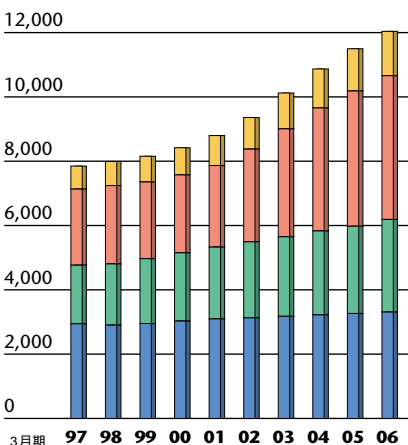
単位:千m<sup>3</sup>(46.047 MJ/m<sup>3</sup>)



■ 全国 ..... 22,742,310  
東京ガス ..... 8,872,142

## 用途別販売量の推移

単位:百万m<sup>3</sup>(46.047 MJ/m<sup>3</sup>)

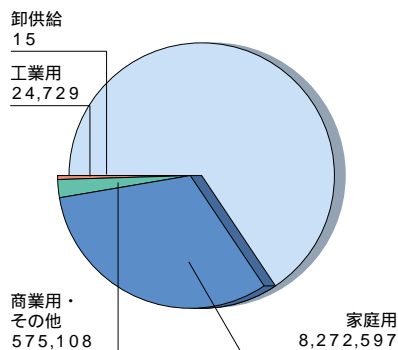


■ 家庭用 ■ 商業用・その他 ■ 工業用 ■ 卸供給

注: 2002年~2006年3月期は見通し

## 全国需要家件数・東京ガスの需要家件数

(2001年3月末)



■ 全国 ..... 25,995,909  
東京ガス ..... 8,872,449

\* 上記グラフの数値は東京ガス単体

### 天然ガス - 将来を担うエネルギー源

天然ガスは、環境負荷が小さく、埋蔵量の60%が中東地域に集中している石油に比べ、北米・東南アジア・オーストラリア・ロシア等世界各国に埋蔵されており、可採年数も石油よりも長く、将来主要となるエネルギー源として注目されています。本年改訂された経済産業省の「長期エネルギー需給見通し」では、2000年3月期に対して2011年3月期の日本のエネルギー全体の需要増加率は1.5%と予測しています。一方で、天然ガス需要はこの間10.7%の伸びが見込まれており、天然ガスは、我が国のエネルギー政策である「環境保全や効率化の要請に対応しつつ、エネルギーの安定供給を実現する」という基本目標に対応しうるエネルギーとして今後も大きな役割を担っていきます。

### 発展し続ける東京ガス

東京ガスの使命は、天然ガスを中心として多様なエネルギーを安定的かつ長期的に供給することであると認識しています。東京ガスは1969年にアラスカから日本で初めてLNG

を輸入して以来、現在では主要LNG生産地であるアラスカ・ブルネイ・マレーシア・オーストラリア・インドネシア・カタールの6カ国から長期契約をベースとしてLNGを輸入しており、LNGに関する豊富な知識と経験を持っていると自負しています。今後とも多様化しつつある市場のニーズにも対応して、価格面等において競争力のある天然ガスを安定的に供給していきます。

このような原料調達体制に加え、規模や技術面で世界をリードするLNG基地と充実した幹線・配給網によって、当社の供給体制を確固たるものとし、2006年3月期までに年平均6.5%と日本経済全体や他エネルギーと比較しても高い成長が見込まれる需要に対応することでエネルギー業界の中で勝ち残っていきます。

東京ガスは、天然ガス事業をコアとして、エネルギーとその周辺分野を主たる事業領域として位置付け、都市ガス供給はもとより、電力、熱を提供する総合エネルギー産業として、着実な成長を目指しています。

### 東京ガスにおけるLNG供給体制

日本への年間の天然ガス輸入量は2001年3月現在約5,410万トンで、このうち東京ガスは約650万トンを入力しています。

